

大好きな、**四條畷**のために。

—今こそ、**維新**の改革で市政を前進。—

四條畷市議会議員（大阪維新の会四條畷市議会議員団）
日本維新の会大阪府大東市及び四條畷市支部 支部長

土井かずよし

※本市政報告書は、政務活動費を按分により使用させていただいております。



Profile

1981年1月1日生（44歳） 家族 妻・長男（9歳）・長女（7歳）
忍が丘幼稚園／四條畷東小学校／四條畷南中学校／大阪産業大学附属高校／
大阪法律専門学校卒業
医療法人河北会顧問・社会福祉法人めぐみ保育園理事・社会福祉法人北出福
社会評議員・四條畷ゴルフ連盟理事

TOPIX

- ◆ 住居表示の枝番制度が10月1日より開始。
- ◆ 市が担うべき消防費用の一部を自治会が負担？
- ◆ 消防団員確保について

住居表示の枝番制度が10月1日より開始。

ひとりの市民の声からスタート

「ご近所さんと住居表示が11軒も同じで郵便物の誤配が多い」

—こんなお声をいただき、私は令和6年2月定例議会で住居表示の問題を取り上げました。

土井
の
提案

「大阪府四條畷市〇〇町（丁目）〇番〇-〇号」

のように枝番制度を導入すべき



令和6年2月定例議会で、
同じ住居表示が多く誤配等を
防ぐためにも住居表示の枝番制度の
導入すべきと訴えたところ、令和7
年10月より枝番制度がスタートし
ます。



当時の議会中継



内容の詳細ブログ

※ 枝番を付番するには市役所での手続き等が必要となります。
詳しくは四條畷市役所市民課までお問い合わせください。

TEL:072-877-2121

市が担うべき消防費用の一部を自治会が負担？

◆消防団庫の課題◆

- ・本来、団庫の建設費用は市負担。→自治会が一部負担。
(市は事業費の1/2・最大300万円を自治会に補助)
- ・敷地が民有地も存在。
- ・消防団庫にトイレ・会議室がない。
- ・一部旧耐震のままになっている。
- ・電気代や火災保険代は自治会が支払いをしている？



消防組織法では、**消防に関する費用は市が負担しなければならない**とされています。議会で消防団庫の建て替え費用や維持費用について、自治会へ負担を求めることは法の趣旨に反し、市が責任を持って費用を負担すべきと指摘しました。市もその認識を示し、**是正の必要性を認めています。**



詳しくはこちら

消防団は、火災や災害時の最前線で活動し、**地域防災を支える大切な存在**です。だからこそ、その拠点である消防団庫の整備や維持管理は、市が責任を持って取り組むべき課題です。

今後は、**国の示す標準施設に沿った整備**を進め、費用負担の在り方も是正し、**市が責任を果たす**仕組みに改めていくことが必要だと考えています。

消防団員確保について



消防団員数が2019年以降HPの更新されていないため、早急な見直しを求めました。また、市職員や大学生を活用する制度や事業所認定制度、学生団員の周知や大学との連携、応援店制度の活用も提案し、平時から市民のためにご活躍いただいている四條畷市消防団を強化することにより、市民の安全がより守られます。

◆消防団員の現状と課題◆

【出勤実績】

- ・火災による出勤は年間2～4回。

【団員数の現状】

- ・定数185名に対し159名（R7.4月現在）
- ・令和元年から減少傾向。（177名 → 159名）
- ・入団数より退団数の方が多い。



詳しくはこちら



消防団は、**地域を守る“最後の砦”**であり、大規模災害時には行政だけでは対応できない部分を担う極めて重要な存在です。しかし少子高齢化や働き方の多様化により、団員確保は年々難しくなっています。だからこそ、**市が積極的に制度を導入し、学生や事業者、市職員など幅広い層が参加しやすい環境を整えることが必要**です。私は今後も議会で提案を重ね、地域を守る消防団の活動を支援してまいります。